

2020年度 日本山岳会山形支部

冬季山行行事－湯殿山で楽しむ会

2021年2月19日
支部長：野堀嘉裕

山形支部の年明けの行事は故長岡伸恭氏が提案したといわれる「蔵王樹氷原を滑る会」として開催され来ましたが、年明け早々コロナ禍の再燃による緊急事態宣言が再度発出されたため、宿泊を伴う山行は困難と判断しました。そのため規模を縮小し、場所を湯殿山スキー場に変えて“散策”としたうえで会員の親睦を図ることとしました。

日程は2021年2月19日（金）日帰りとし、湯殿山スキー場（ゲレンデおよび中台池周遊散策で楽しむこととしました。今回は山行ではなく散策を中心として楽しむこととなりました。午前9時にリフト券売り場前に集合したメンバーは木村・鈴木・梅本・河口・野堀・日向・佐藤の7名でした。リフト乗車直前に梅本氏のブーツが破損したため貸靴に交換するなどのハプニングがありましたが、無事出発。リフト降車後に各自スキーにシールを取り付けて、集合写真撮影。日向氏がトップでラッセル開始、新雪が50cm以上ありましたが、皆でラッセル交代しながら楽しんで歩きました。池の積雪は4m以上ありましたが、雪は深かったですが、筆者が下見で歩いた時の約半分の20分ほどで周遊できました。「皆さん速すぎですよ。もっと森と池と雪を楽しみましょう。」と言いたくなりました。ゲレンデに戻ってからはシールを外して自由滑走です。木村氏が新雪にシュプールを刻むと皆さんも続きます。さすが山スキーヤーです。11時過ぎにはレストハウスで一休み、昼食後に解散となりました。

下の図はリフト降車後の散策のYAMAP軌跡をQGISで編集したものです。



湯殿山スキー場および中台池周辺の地図（注：国土地理院HPから引用）



湯殿山スキー場のゲレンデ（2021年2月19日野堀会員撮影）